

交通事故を未然に防ぐために

- 後付けのペダル踏み間違い
- 急発進抑制装置補助金制度

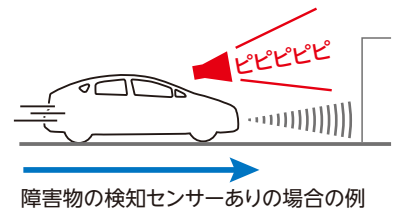
本市では、高齢者のペダルの踏み間違いによる事故の防止対策として、後付けのペダルの踏み間違い急発進抑制装置設置にかかる補助金制度を創設しました。



制度対象者
65歳以上

県下の交通事故全体数は減少傾向にあるものの、高齢運転者による事故の割合は高水準で推移しており、本市でも大きな課題となっています。特に、ペダルの踏み間違いの事故については、発生した場合深刻な事態となるケースが多く、早期の対策が求められています。

そこで、検知センサーなどにより急発進を抑えたり、ペダルの踏み間違いによる暴走を防いだりする「後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置」を設置する際の費用の補助を行います。

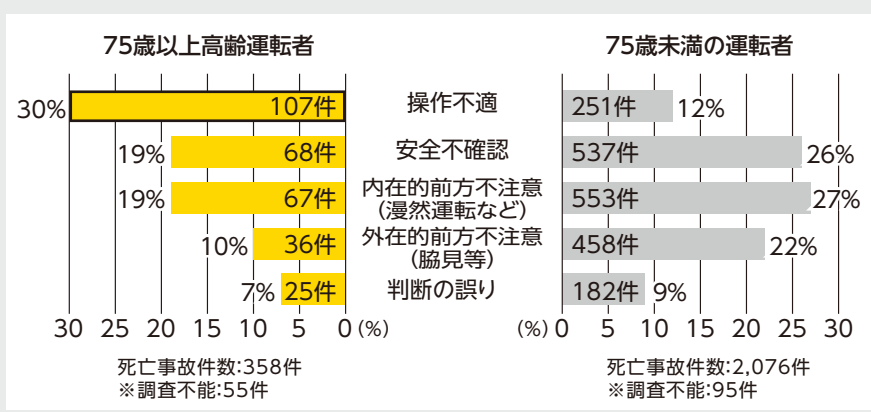


障害物の検知センサーありの場合の例

75歳以上では13倍! ブレーキとアクセルの踏み間違い事故

自動車運転者による年齢層別死亡事故の人的要因比較(令和元年)
(第一当事者が乗用車・貨物車・特殊車の件数) 出典:警察庁

令和元年の警察庁の資料によると、75歳以上の運転者の交通死亡事故のうち最も多かった人的要因は、ハンドルの操作ミスやペダルの踏み間違いなどの「操作不適」で、このうち約4件に1件が「ペダルの踏み間違い」でした。また、75歳以上では、75歳未満に比べ、死亡事故全体に占めるペダルの踏み間違い事故の割合が13倍となっています。



手続き方法

詳しくは、市ホームページ(HP)ID1583376797522)もしくは取り付け店でご確認ください。

■補助対象期間: 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

①補助内容を確認



- 以下のすべてを満たす人
- 本市に在住している
 - 65歳以上
 - 市税の滞納がなく、暴力団員でない
 - 自家用車である(1人1台) など

②登録事業者(取り付け店)に相談



- 登録事業者(取り付け店)を事前にご確認ください
- 取り付け店が申請書を作成、市へ申請します

③お支払い



取り付け費用から補助金額を差し引いた額を取り付け店にお支払いください。(補助金は、取り付け店に振り込まれます)

交通事故にあわないために

本年に入り、県内で交通死亡事故が17件発生し、「人×車」の事故は7件も発生しています。(令和2年3月1日時点) 運転手が事故に気をつけるのはもちろんですが、基本は「自分で自分の命を守ること」が大切です。

- 横断歩道のあるところでは、横断歩道を渡りましょう
- 道路を横断する前に、いったん止まって確実な安全確認をしましょう
- 夜間の外出は、明るい服装を心掛け、反射材を着用しましょう